

【 第24回 世界学生選手権大会（女子） 】

2018年7月30日～5日

開催国： クロアチア ・ 都市： リエカ

試合結果報告（決勝） 8 月 5 日（土）

JPN(日本)	VS	BRA(ブラジル)
10	前半	11
17	後半	8
	第一延長	
	第二延長	
27	合計	19

個人得点

No.	名 前	得点
1	馬場 敦子	
3	北原 佑美	
4	木村 有沙	1
5	近藤 万春	6
6	佐原 奈生子	
7	谷 華花	
10	永塚 梓	
11	服部 沙紀	6
12	犀藤 菜穂	
13	初見 美椰子	1
15	堀川 真奈	2
17	松本 ひかる	3
35	中山 佳穂	8
39	笠井 千香子	
	合計	27

戦評

決勝戦の相手は予選グループで日本が唯一黒星を喫したブラジル。準決勝でポーランドを逆転で下し、勢いに乗るブラジルはスタートから大型PV No.2が得点を挙げる。対する日本は、相手のミスから速攻に繋げ何度もチャンスを作るが、シュートミスで得点機を潰してしまう。さらにブラジルNo.9にDFの間を割られ2点目を奪われた所で、日本はたまたまタイムアウトを請求。ここから落ち着きを取り戻した日本は、8分中山のサイドで初得点を上げると、近藤の速攻など3連続得点で逆転に成功。対するブラジルもパワフルなディスタンスで再度逆転すると、ここから一進一退の攻防が続く。日本は前半終了間際に近藤と中山のゴールで追いつくが、ブラジルもNo.11のゴールで11-10とブラジルが1点リードで前半を折り返す。

後半に入ると日本は本大会好調の近藤の速攻、カットインで勢いづく、松本、服部のサイド陣の連続得点で一気に16-12と4点差を付ける。さらに焦るブラジルの単調なシュートをGK馬場が好セーブ、一気に流れを日本に引き寄せせる。前半シュートミスが多かった日本は、後半しっかりと立て直して確実にシュートを決め始めると、残り10分にはリードを6点に広げる。日本は服部のサイド、中山の豪快なステップなど、攻撃の手を緩めず最後は27-19の大差を付けて、予選グループのリベンジを果たすとともに見事優勝を果たした。

今大会はまさに選手、スタッフ全員のチーム力であつた金メダルで、2019年熊本女子世界選手権、2020年の東京オリンピックに向けて良い刺激となった大会でもあった。

報告記入者：

齊藤 慎太郎